

問福祉農園の推進を福祉利用の観点でどう検討したのか。

答農業まつり等のイベントで障害者支援施設が出展等を行った事例を踏まえ、指定管理者と協議しながら体験機会や販路の創出など、連携の可能性を考えていきたい。

問市内の学校との連携についての取り組みはあるか。

答市内外の学校にPRを行い、学校との連携を通じたこどもの農への関心を喚起する取り組みを推進する。

問指定管理になると、市はどう連携しどの部分を担うか。

答指定管理者と定期的に会議を行い、業務の進捗状況や課題の共有、法令等に関するアドバイス等の支援をする。

問市内業者を含めることを条件にしなかったのはなぜか。

答業務が多岐にわたり、専門性も求められるため、広く事業者を募集したところだが、募集要項に地域貢献に対する考え方を評価項目と位置付け、市内事業者の活用について求めている。

問地域農業の活性化として伝統野菜等の種の交換が提案されているが、どう考えるか。

答利用者が種の交換をして栽培することで、伝統野菜のPRを図れると考える。地域農業の活性化に向け、指定管理者と連携し、伝統野菜の普及につなげていきたい。

問夜間に当直職員を置かないことは、コストパフォーマンス優先とも考えられるが、安全性に問題はないのか。

答キャンプスペースには、防犯カメラを設置する。また、宿泊利用受付時に緊急連絡先を案内し、宿泊利用者から連絡を受けた場合は、現場に駆け付ける以前に電話連絡等で迅速かつ適切な措置を行うとともに、今後作成する緊急対応マニュアルに沿った対応を行うなど、安全性の確保を図っていききたいと考えている。今後、指定管理者候補者と協議の上、運用ルール、連絡・対応体制を明確にしていきたい。

議案第115号

川越地区消防組合規約の変更

無会派 | 日本共産党

討論あり

問今回、川島消防署を分署に格下げするが、今後、事務組合を解散し、消防事務の委託を受ける考えはあるのか。

答川島町とは昭和48年から消防事務を共同実施し、出動における適正配置や設備高度化、人材育成等のメリットから、現時点では消防組合の維持が適切と考える。一方、少子高齢化による扶助費増加や人口減少局面等を考慮すると両市町で厳しい財政状況が見込まれる。消防力を維持しつつ住民の安全安心を将来にわたって確保する手法としての委託に関して、川島町や消防組合の協力も得て、県の広域化の動きを注視しつつ、在り方を検討したい。

問市長と町長は負担割合の見直しを直接相談したのか。

答この課題は、前市長や前町長の頃から検討を重ねてきたもので、私も前市長から引き継ぎを受けた。現町長と会った際に話をしたこともあり、首長を含め本市と川島町で見直しに関する認識は共有されていると考える。

問高階・福原地区の消防力充足に対する検討は。

答消防組合に確認したところ、福原地区や高階地区の消防力を充足させる必要性を十分認識しており、現在進めている消防庁舎の移転完了後に、改めて検討を行いたいとのことであった。

議案第116号

災害対策用備蓄品（避難所用パーティション）の取得

公明党

問今回購入するパーティションの選定理由は。

答仕切りを一部外すことで、1部屋をより大きなスペースにするなど汎用性が高いことや、収納時のサイズ等を考慮したものである。

問使用する際の優先順位をどのように考えるのか。

答高齢者や障害児・者、妊産婦、乳幼児等、一定の配慮が必要な人を優先し、避難者に寄り添った運用とする。

問スペースが足りなくなった場合の活用方法は。

答施設管理者と協議の上、必要に応じ、体育館以外の教室でもパーティションを使用する。

議案第118号

令和7年度一般会計補正予算（第4号）

川越志政会 | 川越未来の会 | 日本共産党

問標準準拠システムへ移行することのメリットは。

答メリットは、システム更新や頻繁に行われる制度改正に対応する職員の負担軽減、改修経費の削減等と考えている。また、厳密に管理されたガバメントクラウドの利用により、個人情報等のデータ保護対策の強化や災害発生時の業務継続についても期待できる。

一方、課題として、全国的に移行後の運用経費が現行よりも増加する懸念があるが、デジタル庁において移行後の運用経費に対する財政的な支援が検討されているとの情報もあり、国の動向を注視していきたい。

問総合体育館空調設備等整備工事の事業費内訳は。

答本工事では、大きく3つの工事に分かれており、新規空調設備に係る費用が6億4216万8千円、既存空調設備に係る費用が4億4498万5千円、照明設備に係る費用が2億4824万7千円の合計13億3540万円である。

問総合体育館空調設備等整備工事の整備内容は。

答メインアリーナは電気を使用した床ふく射方式、サブアリーナはプロパンガスを使用した対流方式、武道場と更衣室は電気を使用した対流方式である。既存空調設備は、灯油を使用した対流方式を踏襲し、更新を行う。